

第6学年総合的な学習の時間指導案

令和4年7月12日(火) 第5校時

荒川区立第三峡田小学校

第6学年1組 27名

授業者 宮田 花

研究主題

未来につながる子どもの育成 ～SDGsの視点と関連させた授業づくり～



1 単元名 「なんだし?なんだし?まなBOSAI!」

2 単元の目標

荒川区の防災について課題意識をもち、区や地域の方の取組などを調べる活動を通して、防災の問題を自分事として捉え、課題解決に取り組むとともに、自らの生活や行動に生かし、地域の防災を担う一員として、すすんで参加することができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①荒川区特有の防災の課題と、区や地域の取組について理解している。 ②区、地域、家庭では様々な取組が行われており、そこには努力や工夫があることを理解している。 ③区、地域、家庭が連携して取り組んでいることが分かる。 ④自分も区の防災の担い手であることが分かる。	①問題の中から課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 ②目的に応じて、必要な情報を集めたり選んだりしている。 ③考えるための技法を活用しながら、情報を整理・分析し、課題の解決に向けて考えている。 ④自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。	①荒川区の防災の問題に関心をもち、自身とのつながりを意識して探究的な学習に取り組んでいる。 ②地域の人、保護者、下級生等と協力して課題解決しようとしている。 ③荒川区の防災の問題を自分事として捉え、すすんで問題解決に取り組もうとしている。

4 児童の実態と教材について

荒川区は、隅田川が区の北東部を迂回して流れている。荒川区防災地図(水害版)を見ると、区の大部分が浸水すると想定されている。また東京都都市整備局の地域危険度を見ると、区内53町のうち14町で危険性が最も高い「総合危険度ランク5」と出ており、地震・水害に弱いことが分かる。これに対し、区では様々な取組を行っている。2015年には、区立中学校全てに防災部を創設し、現在でもその活動は続いている。また、地域でも避難所運営や消防団等で日頃から防災に備えている。

児童に行ったアンケート(本校6年回答25名)では、「避難訓練の際、災害時を想定し自分で考えて行動している」と答えたのは全体の20%だった。また、区の防災の取組について具体的に知っていた児童は全体の28%だった。学校では、荒川の堤防決壊を想定した動画を視聴させたり、ハザードマップを見せたりする取組を行ってきたが、自分事として結び付けるまでにはいたっていない。

荒川区の防災について学習し、児童が防災を自分事として捉えられるようになることは、これからの荒川区の防災の担い手を育てることであり、本研究の「未来につながる子」の育成に直結する。そこで、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」と関連させ、本単元を設定することにした。

5 重視したいESDの視点との関連

ESDの視点	育てたい具体的な姿	関連評価
①つながりを尊重する態度	・荒川区の防災の問題に関心を持ち、自分自身とのつながりを意識して探究的な学習に取り組んでいる。	知④ 主①
②多面的、総合的に考える力	・防災は区、地域、家庭が連携して取り組まなければならないことを理解している。	知③
⑤他者と協力する態度	・荒川区の課題に対し、自分(たち)だけでは解決できないことに気付き、友達、地域の人、保護者、下級生等と協力して課題解決しようとする。	主②

これらの力・態度を高めることで、ESDの構成概念「連携性」や「責任性」を身に付けさせたい。

6 本単元の研究主題にせまる手だて

(1) つながりを尊重する態度

- ・TPCを活用し学習の足跡を残すことで、これまでの自分と学習後の自分を振り返れるようにする。

(2) 多面的、総合的に考える力

- ・JamboardやGoogle Forms、付箋・短冊等の思考ツールを活用し、課題や考えを可視化することで、自分の学習を多面的、総合的に考えられるようにする。

(3) 他者と協力する態度

- ・同じ内容について情報収集するグループをつくり、助け合える環境をつくる。
- ・個の学習の後に必ずグループや全体での情報共有や話し合いの場を設け、他者と協力することで、学びが広がったり深まったりすることを実感できるようにする。

7 他教科等との関連

総合的な学習の時間「なんだし?なんだし?まなBOSAI!」		
国語科	社会科	理科
6年 「聞いて、考えを深めよう」 「情報と情報をつなげて伝えるとき」 「私たちにできること」	6年「国の政治のしくみと選挙」 「災害復興の願いを実現する政治」 5年「自然災害を防ぐ」	5年「台風と防災」 「流れる水のはたらきと土地の変化」 6年「土地のつくりと変化」 「生物と地球環境」

8 指導計画 (70時間) 課：課題設定 情：情報収集 整：整理・分析 ま：まとめ・表現

課題 (時数)	探究	○児童の主な学習活動	・予想される児童の反応	評価 規準
第一次 区の取組や、学校・家庭での備えについて知ろう(30)本時	オリエンテーション	○荒川区のデータやアンケートの結果を見て、防災について課題意識をもつ。 ○いくつかのデータとの出会いから、問いをもち、学習計画を立てる。	・荒川区はいい街だけれど、地震や水害には弱い街だと分かった。 ・少し怖くなった。 ・このままではいけないな。	知① 思①
	情	○防災について興味をもったことを基に、個人で本やインターネットで調べる。 ○区の防災課の方からお話を伺う。	・地震や水害にどのように備えておけばよいか分かった。 ・区はいろいろな対策をしてくれていることが分かって安心した。	思② 主① 知②
	整	○集めた情報を整理・分析する。	・調べて分かったことを友達と共有して、整理しよう。	思③ 思④
	ま	○地震や水害が起こる前、起こったとき、起こった後でどのように対処すればよいかをまとめ、発表する。	・まとめたものを伝えたいね。 ・誰に伝えようかな。 ・どうまとめるかを決めよう。	思④
	課	○まとめたものを振り返り、自分の身の回りの人に防災へ関心をもってもらうにはどうしたらよいか課題を設定する。	・どうすればみんなにも防災意識をもってもらえるだろう。	知① 思①
第二次 自分たちにできること(災害に備えようプロジェクト)(25)	情	○保護者や下級生にアンケートを行い、防災意識や災害への備えの実態を知る。 ○実態を基に、どのようなことを発信すればよいかを調べる。	・防災グッズを置いたり、備蓄をしたりしている人は○%だったよ。 ・下級生には、家族で避難する場所を話し合ってもらいたいね。	主① 主② 思②
	整	○集めた情報を整理・分析する。	・「絶対にやってほしい」ということに優先順位をつけよう。	思③
	ま	○まとめたものを伝える。	・「防災ミッションを攻略せよ」を土曜授業後のPTAの活動で実施しよう。	思④ 主② 主③
課	○イベントに参加した方からの感想や、やってみての手ごたえを基に、プロジェクトを振り返る。	・家に帰って実践しようと思ってくれた人がたくさんいた。 ・自分たちも役に立てた。もっと地域の役に立ちたい。	主①	
第三次 一年間のまとめをしよう(15)	整	○1年間の学びを振り返り、実践報告書を作る。	・自分たちが行動することで周りによい影響を与えられたな。 ・自分たちも防災の担い手なんだ。	知④
	ま	○中学校の防災部を招き、交流する。	・一年間の学びを伝えよう。 ・日頃から地域の人と関わりをもっているのだね。入りたいな。	思④ 知②
	ま	○1年間の学びをまとめる。	・今後もできることをしていこう。	主③

9 本時（第一次 25 / 70時間）

(1) 本時の目標

○目的に応じたよりよい発表になるような質問をする。

○もらった質問を基に発表内容をよりよくするにはどうすればよいか考え、次の計画を立てる。

(2) 本時の展開

	○学習活動 T教師の発問 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価規準【観点】（評価方法）
導入	<p>○本時のめあてを確認し、活動の見通しをもつ。</p> <p>T「今日はいよいよ友達に発表を聞いてもらう日です。」</p> <p>C「どんなことに着目して聞いてもらうのでしたか。」</p> <p>C「災害の怖さが伝わったか」</p> <p>C「災害に備えようと思ったか」</p> <p>C「分からないところはどこか」</p> <p>C「もっと知りたいことは何か」</p> <p>T「聞く人は、この4つのことに着目して聞きましょう。」</p> <p>T「今日のめあては、どうしますか。」</p>	<p>□ワークシートを配布しておく。</p> <p>□聞くときに着目することを確認する。</p> <p>□「質問することで内容が深まった経験」を想起できるようにする。</p> <p>□児童の言葉から、めあてを決める。</p>
	<p>聞き手：分からなかったところを伝えたり、質問したりしよう。</p> <p>話し手：質問をもとに、改善策や次に取り組むことを考えよう。</p>	
展開1	<p>○発表を聞き合い、よりよい発表内容になるように質問し合う。</p> <p>C「発表を聞いて災害の怖さは伝わりましたか。」</p> <p>C「災害に備えようと思いましたが。」</p> <p>C「分からないところやもっと知りたいことはありましたか。」</p>	<p>□ペアグループで向き合う。</p> <p>☆相手グループの内容が深まるように、質問している。</p> <p>【思④】 観察・記述</p>
展開2	<p>○もらった質問から、改善策や次に取り組むことを考える。</p> <p>C「伝えたいことがあまり伝わらなかった。」</p> <p>C「情報を減らしたり、順番を考えたりしてみようか。」</p> <p>C「言葉が難しいと言われたね。」</p> <p>C「言葉の説明をするか、もう少し優しい説明にしよう。」</p>	<p>☆もらった質問から、改善策や次に取り組むことを考えている。</p> <p>【思③】 観察・記述</p>
終末	<p>○学習の振り返り</p> <p>T「学習の振り返りをしましょう。グループのリーダーさんは、もらった質問と次にすることを発表してください。」</p> <p>C「もっと～を知りたいという意見をもらったので、～についてもう少し調べたいと思います。」</p> <p>T「聞き手グループがよい質問をしてくれたおかげで、次回することの見通しが立ちましたね。またグループで協力してよりよい発表を目指していきましょう。」</p>	<p>□話型を示しておく。「～という質問をもらったので次は…」</p> <p>□よい取組を紹介する。</p>